

#### IV. おわりに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、東日本に大きな自然災害をもたらしただけでなく、人災も絡んだ福島原発事故をも引き起こした。この大震災によって、社会全体の科学・技術（特に原子力）に対する見方が変わり、信頼感も揺らいできている。

一方で、今回の大震災によって関心がやや薄らいでいるような感があるが、地球温暖化や炭酸ガス増加の問題は依然として続いており、世界全体として炭酸ガスの大幅削減が求められている。

しかし、福島原発事故の解決も、脱原発の炭酸ガス排出を伴わない代替エネルギーの開発も、やはり科学・技術の力無くしては実現不可能である。科学者・技術者は、このような状況を冷静に判断して、人類や地球の持続可能性を保障する新しい科学・技術を生み出していく必要がある。

そのためには、当面の緊急課題の解決を図るとともに、科学・技術の将来の方向性や夢を考えることも重要である。ここでとりまとめた「理学・工学分野における科学・夢ロードマップ」は、内容的にまだまだブラッシュアップしていく点はあるが、理学・工学分野全体の将来の夢をとりまとめた最初の試みとして、大きな意味があると考えている。

夢は、いろいろな考え方ができるものであり、この科学・夢ロードマップを見て、この夢が落ちているとか、この夢は少し違っていると感じる方々もおられるかもしれない。そういう方々は自分なりに夢を付け加えるなり入れ替えるなりしていただいてもよい。この科学・夢ロードマップによって、多くの方々が未来に夢を馳せていただければ望外の喜びである。

理学・工学分野の現時点で考える 30 年後や 50 年後の科学の夢は、何年か経つと、新しく生まれたり、消えたりして変わっていく可能性がある。従って、数年後には、今回の第 1 版をもとに、内容を更に充実した第 2 版を作成していくことも考えていくべきであろう。

また、理学・工学分野はそれだけで閉じているものではなく、生命分野や人文社会分野にも跨る学際的分野が多くある。今回の科学・夢ロードマップでは他の分野との関係は十分とりいれていない。第 2 版以降の科学・夢ロードマップではそれらも取り入れた、より広がりのある内容にしていくことも検討していくべきであろう。

日本学術会議第三部副部長  
後藤俊夫

日本学術会議第三部拡大役員会委員

第三部部长	岩澤 康裕 (電気通信大学)
第三部副部长	後藤 俊夫 (中部大学)
第三部幹事	池田 駿介 (建設技術研究所)
第三部幹事	永宮 正治 (J-PARC センター)
副会長	大垣 眞一郎 (国立環境研究所)
環境学委員会委員長	進士 五十八 (東京農業大学)
数理学委員会委員長	楠岡 成雄 (東京大学)
物理学委員会委員長	伊藤 早苗 (九州大学)
地球惑星科学委員会委員長	平 朝彦 (海洋研究開発機構)
情報学委員会委員長	村岡 洋一 (早稲田大学)
化学委員会委員長	藤嶋 昭 (東京理科大学)
総合工学委員会委員長	矢川 元基 (東洋大学)
機械工学委員会委員長	笠木 伸英 (東京大学)
電気電子工学委員会委員長	田中 英彦 (情報コミュニケーション大学院大学)
土木工学・建築学委員会委員長	濱田 政則 (早稲田大学)
材料工学委員会委員長	馬越 佑吉 (大阪大学名誉教授)

理学・工学系学協会連絡協議会 所属学協会

環境科学会、日本都市計画学会、水資源・環境学会
日本数学会、応用数学会、統計関連学会連合、日本数学教育学会、 数学教育学会、日本 OR 学会
日本物理学会、日本天文学会、日本結晶学会、日本放射光学会
地球惑星科学連合会
情報処理学会
日本化学連合、日本化学会、高分子学会、日本分析化学会、電気化学会、 有機合成化学協会、日本セラミックス協会、触媒学会
応用物理学会、エネルギー・資源学会、日本エネルギー学会、化学工学会、 プラズマ・核融合学会、日本音響学会、日本原子力学会、 日本品質管理学会、計測自動制御学会、日本騒音制御工学会、精密工学会 日本表面科学会、日本航空宇宙学会、横断型基幹科学技術研究団体連合
日本機械学会、自動車技術会、空気調和・衛生工学会、日本ガスタービン 学会、 日本船舶海洋工学会、日本トライボロジー学会、日本マシエンジニアリング学会 日本流体力学会、日本冷凍空調学会、日本ロボット学会、日本設計工学会
電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会
日本建築学会、土木学会、都市住宅学会、日本コンクリート工学協会、地盤工学 会
日本金属学会、日本鉄鋼学会、日本材料学会、資源・素材学会、溶接学会 日本鑄造工学会、日本塑性加工学会
日本工学会